

平成 2 9 年度当初予算審査にかかる
自由討議を踏まえた
「意見・提言」

福知山市議会
平成 2 9 年 5 月

福 議 発 第 8 1 号
平成 2 9 年 5 月 2 日

福知山市長 大橋 一夫 様

福 知 山 市 議 会
予 算 審 査 委 員 会
委 員 長 野 田 勝 康

「平成 2 9 年度当初予算にかかる自由討議を踏まえた意見・提言」について

予算審査委員会では、平成 2 9 年度当初予算にかかる関連議案に関して、多方面から議案を審査することにより、政策型委員会とするため、平成 2 9 年 3 月 2 4 日に、各会派から提出された 7 件のテーマにより自由討議を行った。

その際に各委員から出された論点・意見等について、「平成 2 9 年度当初予算にかかる自由討議を踏まえた意見・提言」として取りまとめた。

この「意見・提言」について、今後の行政運営や予算執行の参考とされたい。

平成29年度当初予算にかかる自由討議を踏まえた意見・提言

1 「外部有識者登用の妥当性について」

(テーマ提案会派：希望の会)

- ・国においては、各種審議会などに外部有識者が登用されている。本市においても、観光地域づくりセンター（仮称）「戦略マネージャー」、など、様々な外部有識者を登用し、「意識改革」や「人材育成」に利用されている。しかしながら、遠方からの登用には、「日程調整や経費など効率の悪さ」、「市内の人材や市職員のモチベーションが低下する」などの懸念も考えられる。
- ・専門的な外部有識者による新しい発想や意見を取り入れることは重要であり、福知山公立大学や長田野工業団地など市内や近隣の有能な人材の登用を検討していただきたい。
- ・精度の高い行政経営マネジメントを導入し、事業の目標設定とその効果の検証・評価を行うしくみづくりや、地域の実態調査と市内関係団体との調整をしっかりと進めてほしい。

2 「地域コミュニティ交通導入モデル事業について」

(テーマ提案会派：福知山未来の会)

- ・高齢化がますます進行する中で、地域が主体となって、地域の交通手段の確保に取り組まれることは有効な取り組みであり、期待している。
- ・将来にわたり持続可能な施策となるように、行政としても一定の補助や責務を果たすべきと考える。
- ・今後、他の地域への拡大とともに、市の財政負担が今以上に増加しないような支援のあり方についても検討が必要である。

3 「みんなのまちづくり推進事業について」

(テーマ提案会派：福知山市議会公明党)

- ・自治基本条例の市民への周知には、一定の期間が必要と考えるが、住民自治の重要性を市民に浸透させるために、最も有効な方法を検討していかなければならない。
- ・今後、徐々に関心のある人を増やし、自らまちづくりの担い手になってもらえるようにすることが大切である。
- ・常に住民自治のあり方を検証しつつ、必要に応じて改正も検討していくべきである。

4 「市職員、教職員の超過勤務の是正について」

(テーマ提案会派：日本共産党福知山市会議員団)

- ・今問題になっている「過労死」につながるような働き方については、早急な解消が必要であり、改善が求められる。
- ・効果的な部活の外部コーチの登用、フレックス勤務や平日の代休の活用など、超過勤務を減らすために、具体的な取り組みが必要である。
- ・サービス残業を防止する内部管理体制がないと法整備だけでは機能しない。労務管理や仕事の分担など、総合的な調査と工夫により、職員の健康を考えた取り組みが求められる。

5 「地方創生事業のあり方と展開について」

(テーマ提案会派：蒼士会)

- ・平成28年度において、国庫補助の対象外になったものが多かったが、平成29年度の事業においても、ほぼ同様の事業も散在する。事業が本市にとって有効かどうか精査した上で、本当に必要なものについては市単費であっても実施すべきである。
- ・国においては、それぞれの自治体の自主性と実態に合った地方創生交付金制度となるように改善が求められる。

6 「福知山公立大学の議会決議に対する平成29年度の反映について」

(テーマ提案会派：地域政党ふくちやま議員団)

- ・平成28年3月定例会において「福知山公立大学の将来にわたる安定した運営を求める決議」が可決した。当時の財政シュミレーションと比べて平成29年度予算では、運営費交付金が2千万円増加している。その要因についてもっと丁寧な説明が必要と考える。
- ・今後、欠損補助について一定のルールを検討していくべきではないか。また、大学運営の経常経費である運営費交付金と、施設整備や大規模な改修経費とは区別して考えるべきであるが、中期計画の見直しが必然であれば、決議の遵守について、今一度確認すべきである。

7 「6次産業推進事業について」

(テーマ提案会派：福知山きずなの会)

- ・東京都板橋区のアンテナショップについては、「引き続き出店し次の展開に向けて調査を実施する」という前向きな答弁があった。今後も長期的な視点で取り組んでほしい。
- ・1次産業に付加価値をつけて6次産業として、自分たちで工夫してがんばっている団体には、持続可能な後押しとなる支援が必要である。
- ・単に都会に農産物を送って販売することが6次産業ではない。全国の成功例も参考にして取り組んでほしい。